

京丹後市都市拠点等の在り方検討会議 会議録

- 1 会議名 第4回京丹後市都市拠点等の在り方検討会議
- 2 開催日時 令和4年3月30日(水) 午後1時30～午後4時00分
- 3 開催場所 京丹後市役所2階 201・202・203会議室
- 4 出席者氏名
 - (1) 委員
大庭哲治、森本賢一郎、藤井美枝子、堀井眞、今井みどり、味田佳子、田中智子、水嶋式行、水田朋子、嶋田健一郎、山崎高雄
 - (2) 事務局
建設部長 吉岡浩司
建設部都市計画・建築住宅課 課長 中川正明、同課 課長補佐兼係長 井上浩一
市長公室長 川口誠彦
同政策企画課 課長 松本晃治、同課 課長補佐 大江敦博

5 内容
令和4年度都市拠点等の在り方検討会議の進め方等について

- 6 公開又は非公開の別 公開
- 7 傍聴者 3人
- 8 議題
 - (1) 令和4年度の検討について
 - ア 検討の進め方について
 - イ 検討に係る方向性について
 - ウ その他
 - (2) その他

(開会)

委員長 前回、しんざん小学校隣接エリアの件につきまして、中間報告ということで、取りまとめることができました。
挨拶
本日は、中間報告のとりまとめをふまえて、次年度に向けて京丹後市の都市拠点の在り方について、いろいろと議論をしていきたいと思っております。

(事務局から資料に基づき報告)

拠点の在り方(中間報告)のまとめについて…資料1

(事務局から資料に基づき説明)

(1) ア 検討の進め方について…資料2

(質疑応答及び意見)

- 委員 若者ワークショップについて4回程度ということですが、一回あたりどのくらいの人数で考えていますか。
- 事務局 3グループくらいに分けてワークショップの開催を考えており、1グループあたり5人程度でと思っています。
- 委員 都市拠点の想定位置について、点線のエリアの範囲とした理由付けとして、都市計画マスタープランといった上位計画的なものがあるのかお尋ねしたい。
- 事務局 都市計画マスタープランの方に都市拠点という部分もあり、峰山であれば市役所を中心として峰山駅の方まで地域拠点という位置付けにしています。そのような中、山陰近畿自動車道のアクセス道がここに延伸され、この位置が京丹後市の玄関口になるということで、地域拠点との関わり状況も踏まえて、この辺り一帯が都市拠点というエリアにふさわしいのではないかとの思いでこの案を提案させていただいたところです。今後、検討を行っていく中で変更、修正も必要と考えています。
- 委員長 マスタープランの方にエリアをお示しいただいているとのことですので、委員の方々には基本的にこの点線のエリアを共通認識として持ちながら議論を進めて参りたいと思っています。
- 委員 検討会の議論がハードに特化した内容となっているが、この内容のいわゆるソフト部分である、京丹後の魅力だとか、若者がここに帰ってくるとか、ここがどのようにすごく良い場所になっていくのかが盛り込まれていない感じがする。
- 委員長 資料1では、ソフト面で魅力的な部分が欠けているのではないかのご意見かと思えます。この会議で、しんざん小学校の隣接エリアとそこに何を公共施設として確保していくのか検討していただき、資料1の機能を設けることで、これに関連した様々な今後のにぎわいだとか、あるいは京丹後市民にとってのメリット・ベネフィット、そのあたりを確保していくための構想案を資料1で示されているのかなと思っています。今後、構想案を具体化していく、あるいは公共施設整備を具体的にどのようにしていくのか考えていく中で、ソフト面も合わせて検討していく必要があると思っています。
- 委員 ワークショップも含めて、令和4年度はしんざん小学校隣接エリアだけではなく、資料2の1ページの下の赤点線の範囲について検討をしていくということですか。
- 委員長 今年度、しんざん小学校隣接エリア並びにこの公共施設の整備に関して中間のとりまとめを行ったということです。当然、次年度におきまして

も、これに関することで反映できることがあれば、最終報告に向けて議論していくということになります。資料2の赤点線の範囲に広げて、広域の拠点としてどうあるべきかという議論をしていきたいというところでは。

委員 先ほどのワークショップの話で、ソフトの部分が一番大切なところで重要な位置にあると思っています。もちろん委員長にコーディネーターをお願いして、いろいろとアドバイスをいただくとと思いますが、ビジネスに直接関わってる方とか、実際に事業をやられてる方とかをオブザーバーのような形でご検討いただければと思います。

委員長 ありがとうございます。非常に貴重な意見だと思っています。より積極的に対象者に参加してもらって、真剣にこの京丹後市のことを考えてもらう仕掛けは非常に重要だと思っています。
続きまして、議題の(1)のイ検討に係る方向性について、事務局の方からご説明よろしく願いいたします。

(事務局から資料に基づき説明)

(1) イ 検討に係る方向性について…資料3

(質疑応答及び意見)

委員 以前、教育委員会の調査だったと思うが、あなたは将来京丹後市に帰ってきますかとの質問に、帰らないという子供の回答が多かった。その理由としては、やっぱり魅力がない、帰ってきても何もないということ。そういうところを少し整理してテーマにさせていただく方が、私は良いのかなと感じています。

委員長 そのあたりも是非含めたいと思っていますし、やはりそこがその魅力につながる部分で、かつ都市拠点のあり方を考える上でも大事になってくると思います。

委員 しんざん小学校隣接エリアの公共施設等をインクルーシブなものにするためには、若者だけではなく、地元の方や障害を持った方など多種多様な方達、検討の段階からそういう方達にも入っていただいて意見を聞かなければならないのでは。とても大切な機会なので是非その地元の方、若者、いろいろな方の意見を聞けるようなワークショップがあった方がいいなと思います。

事務局 地元の意見も踏まえてということ、また地元の方々という部分もありますので、手法などやり方も含めて検討させていただきたいと思っています。

委員 今から20年経つと、もっと移住者や移民といった方に定住してもらえ

るようなことをしないと人口が増えたり維持が出来なかったりするのでは。そういう部分は、共生とかを今の時点から意識されるべきで、そのあたりのことを検討していく中で、将来的なビジョンを特に若い方、若い世代に考えていただければいいのかなと思います。

委員長 そのあたり非常に重要で、若者に思ってることを言ってもらうだけではなく、京丹後市内外の現状把握・分析をして、その情報を若者に提供しながら、より現実を踏まえた形での議論をワークショップの中でやっていきたいと思っています。

委員 参考例にある「20年後の京丹後のまち」の夢を語ってもらったらいいと思います。高校生が今どんな具合に京丹後市がなったらいいかな、そういう夢の話でもいいんだと思います。だから高校生とか、Uターンとかで帰ってきた方達が、京丹後がこうあって欲しいなという話が大切だと思います。この高速道路はここまで来て、京丹後はこうあってほしい、こうなったら京丹後に帰って来るよ、京丹後に人が来ますよと、そういう発展性のある話をワークショップでは必要かなというふうに思っています。

委員長 将来どうありたいかってところ、まさにそういう夢の部分も入ってこない魅力ある京丹後市像が描けないんじゃないかと思っています。そのあたりは是非入れたいと思っています。

委員 高校生、若者の方、障害者の方、国籍が違う方もおられる。多種多様な方が参加してのワークショップにさせていただいたら、私たちもわくわく楽しく夢が描けるんじゃないかなって思います。

委員長 将来の夢を語ってもらうのも非常に重要だと思いますので、そのあたりは是非このワークショップを通じて、若者から引き出せればと思っています。子育て世代、障害持たれている方、多様な意見も当然重要になってきますので、そのあたりもこのワークショップは中で反映できればいいなと思っています。

貴重なご意見色々いただきましたので、少し整理をさせていただきます。概ね夢のあることと、現実を踏まえたこと、そのあたりのバランスをとりながら、年数は概ね20年後が妥当だと思いますので、このあたりを目安に京丹後がどうあるべきかというところを、都市拠点のあり方につながる形でワークショップを進めさせていただきたい。また、事務局とも相談しながらテーマの方は固めさせていただければと思っています。

○検討結果

- ・ 検討の進め方、検討方針（暫定）における構想案についての確認がされた。
- ・ 若者ワークショップでの検討テーマについては、委員長と事務局で調整する。

(大庭委員長から資料に基づき話題提供)

(2) その他 地方公共交通とネットワークの考え方…資料3

(閉会)

副委員長 今年度の部分が非常に整理されて来年度へ繋がっていくということ、また来年度は新たにワークショップも入りますので、その中でこれからの方向性が定まっていけば非常にいいかなということで期待しています。